
愛すべき苦手なもの

苑怜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛すべき苦手なモノ

【Nコード】

N5507P

【作者名】

苑怜

【あらすじ】

人見知りがすぎて声をかける事ができずに早十五年。クラスメイ
トや知人の知人ばかりで、友人がいない事実。
辛うじて本音の言える友人は二人。

めざせ友達あと三人位！

私は女が苦手だ。

何事にも集団で行い、しばしデザイン違いの小物を仲良く揃えてみたと思えば、反りの合わない相手とはほとんど義務的な会話しか行なわない。

今日の髪形や休みの服装から新商品、意中の相手のアプローチ法などを話したと思ったら、先日のドラマの展開へと移る速さには毎度驚かされる。

食事や外出にと友のついでに誘われては対応に困り、声をかけられたらうまく断れず同行する事になる。

頭数と称した食事会ではどうにも馴染めず、友人達の目標を定めた肉食獣の如き眼差しに他人事ながら同情する。

見た目が良ければ良い程、幸と不幸が舞い込むもののだとなんとなく感じた。

それでも。

一緒にいて可愛らしい姿や可憐な姿を見ては庇護欲を刺激され、内からの美しさや気高さにも惹かれて止まない。

季節の折のささやかな贈答のやりとりは面倒だが、返答の際に本心からの嬉しそうな頬を見ればそれも報われる。

上下に兄弟達しかいないので、それなりに仲良くなった友人達を見る限りは可愛いと思っている。しかし、兄弟に言わせれば私の周囲の方が間違っているらしい。

わずかにだが、友人達とはちょっと違う、いわば親友と密かに呼

んでいる友も二人程いる。やはりそちらも辛辣な判断を下す。
トモダチが少ない可愛そうな子扱いはちよつと酷いと抗議したが
却下された。

+ - - - + - - - + - - - + - - - + - - - +

卒業を控え、屋上で昼食をとりながら敷地内を見渡す。
すでに登校の義務も無く、友人や後輩と顔を合わせる為に来てい
る。

もうすぐこの景色も見納めだ。

本当に卒業して大丈夫なんだろうか。

人見知りする性質なので念を押してエスカレーター式の中学へ進
んだ。引越し先の近所にあったのもひとつの理由だ。

学年の半分程度はまた一緒に、今度は違う校舎へ通う事になる。
大学ともなればすれ違う程度にしか会えなくなるだろう。それで
もこのように『昼食会』を開いて招いてくれるかもしれない。

いや、この年になって友達の一人位は自力で作れないのは問題だ。
今まで助けられていたからこうして沢山の友人達ができる。

初めて会った時に声を掛けてくれたのだから、今度はこちらから
同じ事をすればいい。

この狭い校内で二人も心を許せる友が見つかった。また新しく出
会った中にもいないとは限らない、失敗したら話して慰めてもらおう。

紙パツクの底から液体が無くなった音で我に返った。

ストローをかじって抜いたたまま、左右と底面の爪を剥がし平らにしてストローを縮め格納する。

「温かい紅茶はいかが」

「緑茶もあるよー」

「デザートにカップケーキ持って来ましたっ」

「プリン焼いてきたよ、カラメル焦がし気味の好きでしょ」

無言で差し出される可愛い装飾のクッキーを摘みながら次はどれにしようか迷う。

ああ、なんて可愛いんだろう。

これが上辺だけの偽りだなんて信じられない。

たとえ好きな人ができたら居なくなるとしても、共学になったら態度が変わるとしても。

こんなにも輝いた笑顔で差し出されたら、毒入りと知っていても間違い無く食べてしまう。

+ - - - + - - - + - - - + - - - + - - - + - - - +

私は女が苦手だ。

きっと彼女らになら何をされても怒れないし恨めない。それどころか事を起した原因を探して憂いを無くしてあげたい。

出来る事なら全員腕の中に仕舞っておきたい。この笑顔向けられる未来の婿達が恨めしい。生まれる性別を間違えたと思えない。何故神様は兄弟達ばかりに配ってしまったのか。

全てが愛らしい彼女達を一人だけ選ぶ事など出来ないから、全員に同じだけの誠意と愛を捧げよう。

こんなにも可愛らしい存在を知って尚、兄弟と同じ性別に向ける愛が残ってる訳が無い。

親友は別枠だから安心して欲しいと伝えたら、今度は残念な子扱いされた。

(後書き)

ご指摘、感想等お待ちしております！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5507p/>

愛すべき苦手なモノ

2011年10月6日23時38分発行